

5 景観形成推進ゾーンの方針

(1) 景観形成推進ゾーンの選定

景観形成方針に基づいた良好な景観形成を効果的に進めていくためには、町民、事業者、行政が一体となって地域ごとにきめ細かい取り組みを行い、成果を目に見えるようにしていくことが重要です。しかしながら、これらを直ちに全町レベルで展開することは困難です。

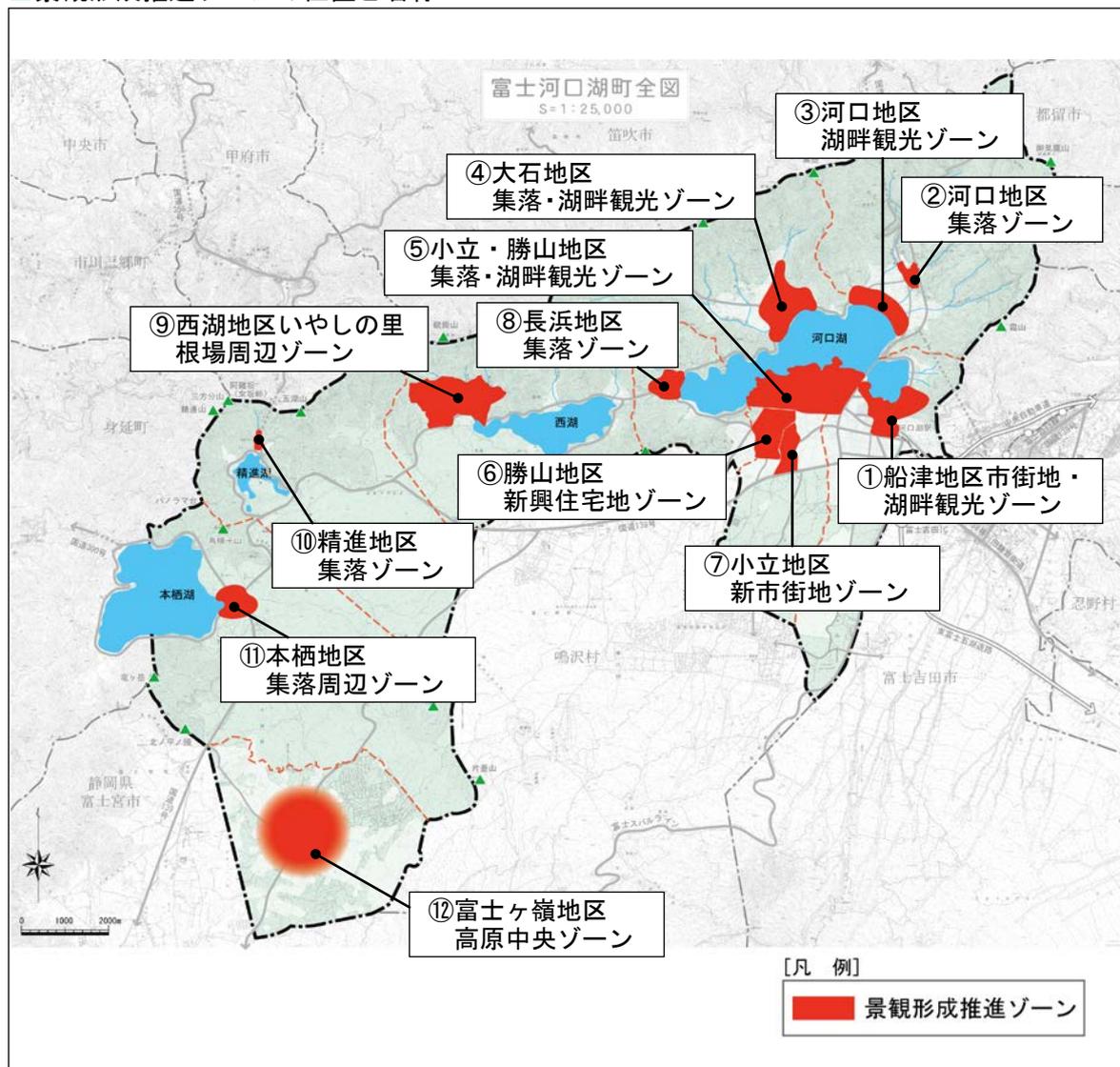
このため、本町の中でも、特に先導的かつ重点的に景観形成を推進すべき一定のゾーンを「景観形成推進ゾーン」として位置づけ、できるところから無理のない着実な取り組みを進めていきます。

ここでは、以上の考え方に基づいて、下図に示す 12 箇所の「景観形成推進ゾーン」を選定します。

■景観形成推進ゾーンの選定の考え方

- 富士河口湖町の顔・シンボルとなっているところで、良好な景観形成が必要なゾーン
- 際立った特徴と高い景観的資質を備え、景観の保全・整備の必要性が高いゾーン
- 特徴的な景観まちづくりに関するプロジェクトが実施あるいは計画されているところ
- 地域住民による主体的な景観まちづくりの取り組みが行われているところ など

■景観形成推進ゾーンの位置と名称



(2) 景観形成推進ゾーンごとの方針

1) 船津地区市街地・湖畔観光ゾーン

■現状と課題

- 本町の玄関口となっている河口湖駅周辺、公園や宿泊・観光施設などが集積する湖畔周辺、船津で最も歴史が古く、商店街や狭い路地に沿って趣ある家並みが続く旧市街地など、様々な顔を持ち、本町の中心市街地、本町を代表する観光ゾーンとなっています。
- これまで、まちづくり交付金事業を活用した道路、歩行者ルート、公園・広場、コミュニティ施設等の整備や商店街活性化などの取り組みが行われています。
- 中心市街地、本町を代表する観光ゾーンにふさわしいまち並み景観として、その質的向上を図るとともに、多彩な景観資源を活かした魅力づくりや活力ある景観の創出が望まれます。

■景観形成の目標

中心市街地、代表的な観光ゾーンにふさわしい魅力と活力ある景観の創出

■景観形成方針

①河口湖駅周辺の整備と景観の向上を図る

駅舎や駅前広場、駅前通り等の整備に併せ、商店街の活性化や花植え等の特色ある緑化、電線類の地中化、看板類や建築物等の適正な規制・誘導により、本町の玄関口にふさわしい良好なまち並み景観の形成を図ります。



・整備された河口湖駅

②湖畔観光ゾーンの整備と魅力を高める

シンボルとなる天上山公園の整備（アジサイ、ルート、サイン等の拡充）、古道（鎌倉街道）を活用した散策路、小曲展望広場等の眺望広場の整備、湖畔道路や公園、遊歩道等の修景や緑化、電線類の地中化、看板類や建築物等の適正な規制・誘導により、代表的な観光ゾーンにふさわしい魅力ある景観形成を図ります。



・天上山公園のアジサイ



・石畳整備された鎌倉街道



・小曲展望広場と河口湖

③船津市街地の活力や魅力の向上を図る

本町通り・河口湖通り商店街については、商店街の活性化（空き店舗の活用など）と併せて、道路の修景、国道137号の拡幅整備、にぎわい交流広場やポケットパークの整備、花植え、看板類や建築物等の適正な規制・誘導などにより、中心商店街にふさわしい魅力づくりと良好なまち並み景観の形成を図ります。

また、中心市街地については、家並み、路地空間、社寺など、趣のある雰囲気をもたないよう景観的に配慮するとともに、身近な魅力や景観資源を結ぶ散策ルート（まちなか石畳道など）の整備を推進します。



・にぎわい交流広場

④シンボル道路の景観的魅力を高める

河口湖駅と湖畔のホテル・旅館街を結ぶ河口湖駅前通りと国道137号は、シンボル道路として、道路の修景、花植えなど特色ある緑化、電線類の地中化、看板類の適正な規制・誘導など、道路景観の向上を図ります。



・河口湖駅前通り

2) 河口地区集落ゾーン

■現状と課題

- 鎌倉街道の宿場町、富士山信仰の拠点である御師のまちとして栄えた歴史をもつ河口集落を核とするゾーンで、河口浅間神社と参道、堅家の家並み、大屋根の古民家や歴史的建造物、旧富士講の参詣道、御師の門、川口左衛門の屋敷跡、たつ道と呑川などの遺構、古木・大木、道祖神など、往時をしのぶ歴史的景観資源や遺産が多く残されています。
- 平成 21 年 7 月に「河口地区のまち並みを考える会」が発足し、歴史的景観資源や遺産を活かしたまちづくりの検討が進められています。こうした景観まちづくりの芽を大切に育て、本町の代表的な歴史的シンボルゾーンにふさわしい良好な景観形成を図ることが望まれます。

■景観形成の目標

富士山信仰と古道の歴史が感じられ、暮らしぶりが人を魅きつけるまち並み景観の形成

■景観形成方針

①歴史的景観や遺産を活かした景観まちづくりを進める

多様な歴史的景観資源の保存を図るとともに、古民家や歴史的建造物の改築、歴史的景観資源の周りの修景、まちかどや辻、サイン等の整備、歴史的景観資源を結ぶ歩行者ルートの整備、景観マップづくりなど、歴史的景観や遺産を活用した景観まちづくりの促進を図ります。



・三浦家の門

②歴史を感じさせる統一感のあるまち並み景観の形成を図る

堅家の家並みなど、独特の集落形態を保全するとともに、歴史ある集落の趣を損なうことのないよう、建築物や工作物の適切な誘導を図ります。また、景観に配慮した道路や河川構造物等の整備、まちかどの修景や花植えなどにより、統一感のある良好なまち並み景観の形成を図ります。



・御師集落を貫く河口浅間通り沿いのまち並み

③シンボルとなる古道(鎌倉街道)の魅力づくりを進める

国道 137 号河口Ⅱ期バイパスの供用開始に伴い、幹線道路から生活道路に移行した河口浅間通りは、地域の主要な生活道路、シンボル道路として、古道(鎌倉街道)の歴史を感じさせる道路の修景や沿道の良好なまち並み景観の形成を図ります。

また、国道 137 号河口Ⅱ期バイパス沿道についても、地域景観に配慮した整備・景観の誘導を図ります。

3) 河口地区湖畔観光ゾーン

■現状と課題

- 河口湖北岸の観光ゾーンで、河口湖越しに見る富士山の眺望に優れ、河口湖美術館をはじめ、美術館、観光施設、飲食施設等が多く立地しています。
- 富士山と河口湖の優れた眺望を最大限に活かし、河口湖北岸の観光ゾーンにふさわしい魅力ある景観形成が望まれます。

■景観形成の目標

富士山と河口湖の眺望を活かした賑わいと魅力ある景観の形成

■景観形成方針

①湖岸の景観的魅力を高める

湖畔遊歩道や梨川もみじ公園など既存施設の修景を図るとともに、新たな眺望場所や親水空間の整備、景観に配慮した湖や河川護岸の整備、特色ある緑化などにより、湖岸の魅力の向上を図ります。



・湖畔遊歩道からの眺望

②湖畔のまち並み景観の向上を図る

湖畔道路の修景や緑化、富士山や河口湖の眺望に配慮し、周辺と調和した建築物や工作物の適切な誘導により、整序感のある良好なまち並み景観の形成を図ります。



・湖北ビューライン沿道のまち並み

4) 大石地区集落・湖畔観光ゾーン

■現状と課題

- 河口湖北岸の伝統的な集落地と湖畔の観光ゾーンで、集落地は、富士山と河口湖の眺望に優れ、大石浅間神社周辺は、茅葺きの形態を残す大屋根の民家が残るまち並みなど、懐かしい趣のある集落景観を形成しています。また、湖畔は、大石公園をはじめ、観光施設等が立地し、観光ゾーンを形成しています。平成22年3月には若彦トンネル（県道富士河口湖芦川線）が開通し、観光地としての発展も期待されています。
- 伝統的集落のまち並み景観の維持向上を図るとともに、富士山とうの島を正面に見る河口湖の優れた眺望を最大限に活かし、河口湖北岸の観光ゾーンにふさわしい魅力ある景観形成が望まれます。

■景観形成の目標

懐かしい趣のある集落景観の維持向上と、河口湖を前景に見る富士山の眺望を活かした湖畔景観の形成

■景観形成方針

① 伝統的な集落地の景観的な魅力を高める

大屋根民家の家並みや社寺、古木、古道などの歴史的景観資源の保全、地域の核となる大石浅間神社や大石紬伝統工芸館周辺の修景、まちかどや辻、サイン等の整備、景観資源を結ぶ歩行者ルートの整備、良好な眺望場所の整備など、地域のもつ魅力や景観資源を活かしたまちづくりの促進を図ります。

また、富士山の眺望や伝統的な集落地の趣を損なうことのないよう、建築物や工作物の適切な誘導を図り、整序感のある良好な集落景観の形成を図ります。

② 湖岸の魅力づくりと湖畔のまち並み景観の向上を図る

湖岸については、葦原群生地やうの島の景観の保全、眺望場所や親水空間の整備、景観に配慮した護岸や施設整備など、良好な自然景観の保全と眺望景観の魅力向上を図ります。

また、大石公園など施設が立地する湖畔一帯については、湖北ビューラインの修景や緑化、富士山や河口湖の眺望に配慮した建築物や工作物の適切な誘導、廃業施設などの景観阻害要因の改善により、整序感のある良好なまち並み景観の形成を図ります。



・大石集落と河口湖の眺望



・富士山と湖畔のラベンダー

5) 小立・勝山地区集落・湖畔観光ゾーン

■現状と課題

- 河口湖南岸の市街地と湖畔の観光ゾーンで、県道鳴沢富士河口湖線沿いに形成された市街地は、社寺や伝統的な建築物、路地空間、イチイの生け垣など、緑豊かな集落地の趣を残しており、勝山地区の生活の中心として、小中学校や各種公共施設も多く立地しています。また、湖畔は緑豊かで、河口湖の眺望に優れ、各種公園、観光交流施設、富士御室浅間神社などが立地し、河口湖南岸の特色ある観光ゾーンを形成しています。
- 伝統的な集落の趣を残す市街地のまち並み景観の維持向上を図るとともに、河口湖南岸の湖畔観光ゾーンにふさわしい魅力ある景観形成が望まれます。

■景観形成の目標

趣ある市街地のまち並み景観の維持向上と、湖畔観光ゾーンの魅力を高める景観の形成

■景観形成方針

① 趣ある市街地のまち並み景観の魅力を高める

主要な地域幹線道路である県道鳴沢富士河口湖線の修景や緑化、イチイの生け垣の普及、伝統的な建築物の保存と再生、主要な公共施設の修景・緑化、地域の景観資源を結ぶ散策ルートの整備、空き家の有効利用などを図ります。また、湖畔からの富士山の眺望に配慮し、集落地の趣を損なうことのないよう、建築物や工作物の適切な誘導を図り、整序感のある良好なまち並み景観の形成を図ります。



・立派なイチイの生け垣

② 湖畔観光ゾーンの景観の向上と魅力づくりを図る

湖岸の葦原や湖畔の樹林の保全、湖畔道路、小海公園等の既存公園、既存観光施設等の修景と緑化、眺望場所や湖畔遊歩道、親水空間の修景整備、看板や廃屋などの景観阻害要因の改善などにより、湖畔観光ゾーンの景観の維持向上と魅力づくりを図ります。

6) 勝山地区新興住宅地ゾーン

■現状と課題

- 勝山地区市街地の南側で宅地化が進みつつある新興住宅地ゾーンで、周辺は樹林地に囲まれ、緑豊かなまち並みが形成されています。現在、東西方向に都市計画道路船津小海線の整備が予定されており、道路整備に伴い、土地利用や景観への影響が予想されています。
- 景観に配慮した幹線道路整備と周辺の自然と調和した良好なまち並み景観の形成が望まれます。

■景観形成の目標

地域景観に配慮した幹線道路の整備と、良好なまち並み景観の形成

■景観形成方針

①景観に配慮した幹線道路の整備を図る

都市計画道路船津小海線の整備に際しては、景観に配慮した道路整備や緑化を図るとともに、沿道の土地利用や建築物・工作物および屋外広告物等の適正な誘導を図り、魅力ある道路景観の創出と良好なまち並み景観の形成を図ります。



・船津小海線と河口湖大橋通り交差点の花壇

②周辺と調和する住宅地の良好なまち並み景観を誘導する

住宅の立地が進んでいる界わいには、公園や広場等の整備を図るとともに、湖畔からの富士山の眺望の確保や周辺との調和に配慮した建築物や工作物の適切な誘導を図り、整序感のある良好なまち並み景観の形成を図ります。



・整備された新興住宅地の道路



・新興住宅地のまち並み

7) 小立地区新市街地ゾーン

■現状と課題

- 上記6)勝山地区新興住宅地ゾーンの東側に隣接する小立土地区画整理事業地区(面積 34.2ha)で、現在、都市計画道路船津小海線をはじめ、道路や公園等の基盤施設の整備が進められています。
- また、国道139号沿道には、大規模ショッピングセンターが立地しています。
- 新しい住宅市街地の良好な景観形成を目指し、幹線道路をはじめ、景観に配慮した公共施設の整備と周辺の自然と調和した統一感のあるまち並み景観の形成が望まれます。

■景観形成の目標

新しい住宅市街地として地域景観と調和し、統一感のある良好なまち並み景観の形成

■景観形成方針

①景観に配慮した公共施設の整備を図る

都市計画道路船津小海線をはじめ、道路や公園等の公共施設の整備に際しては、景観に配慮した施設整備や緑化を図ります。



・基盤整備が進む住宅地

②一定のルールに基づき良好なまち並み景観を誘導する

住宅地や幹線道路沿道およびショッピングセンター等については、景観計画の他にも「地区計画」の活用など、一定の地域ルールに基づき、湖畔からの富士山の眺望の確保や周辺景観との調和に配慮した建築物や工作物および屋外広告物等の適切な誘導、緑化などを図り、統一感のある良好なまち並み景観の形成を図ります。



・フォレストモール富士河口湖

8) 長浜地区集落ゾーン

■現状と課題

- 河口湖西岸の若彦路の宿町として古くから形成された伝統的集落地で、河口湖と後背の山に囲まれ、社寺や古木、折曲した坂道、畑、石垣、伝統的民家、集落内の水路など、趣のある集落景観を形成しています。また、足和田地区の生活の中心として、小中学校や各種公共施設、観光宿泊施設も立地しています。
- 伝統的集落のまち並み景観の維持向上を図るとともに、河口湖の眺望や地域の景観資源を最大限に活かし、奥河口湖と呼ばれる観光ゾーンにふさわしい魅力づくりや良好な景観形成が望まれます。

■景観形成の目標

奥河口湖の観光ゾーンにふさわしい魅力づくりと、良好な集落景観の形成

■景観形成方針

①古道(若彦路)を中心とした集落景観の魅力を高める

古道(若彦路)を中心に、歴史的景観資源(東光寺や貴船神社、古木や道祖神など)をはじめ、長浜発電所、旧道トンネル、良好な眺望場所(東光寺、奥河口湖さくら公園など)、趣のある集落地の風景(石垣、坂道、伝統的民家と家並み、水路など)など、身近な景観資源の顕在化を図るとともに、これらを結ぶ散策ルートの整備(まちかどや辻、サイン等の整備)を図ります。

また、趣のある集落地の風景を損なうことのないよう、建築物や工作物の適切な誘導を図り、良好な集落景観の維持向上を図ります。



・高台に建つ東光寺

②湖岸・湖畔ゾーンの景観的魅力を高める

湖北ビューラインや湖畔道路の修景・緑化、特徴的なロングビーチの景観保全や親水空間の整備、景観に配慮した護岸整備など、良好な自然景観の保全と魅力の向上を図るとともに、主要な道路沿道については、河口湖や良好な自然景観を損なわないよう看板や標識、建築物や工作物の適切な誘導を図ります。

9) 西湖地区いやしの里根場周辺ゾーン

■現状と課題

- 「いやしの里根場」を中心とした周辺の里山・田園ゾーンで、昭和41年の災害により失われてしまった茅葺き民家群の再生(「西湖いやしの里根場整備事業」)が行われました。いやしの里根場は、富士山や樹海の眺望に優れ、周辺の田園や里山と一体に、地域の新たな魅力スポットとして多くの町民や観光客に親しまれています。
- 今後とも周辺景観に配慮した事業を推進するとともに、周辺の里山や農地を含め一体的に景観の維持向上を図ることが望まれます。

■景観形成の目標

里山に抱かれた集落の原風景再生による魅力ある観光ゾーンとしての景観形成

■景観形成方針

①景観に配慮した事業の推進を図る

いやしの里根場とその周辺については、引き続き、茅葺き民家をはじめ、石垣、水路、生活道路、植樹など、景観に配慮した整備を推進するとともに、本町の新しい観光ゾーンとして活性化を図ります。



・いやしの里根場の家並み

②周辺の里山・田園ゾーンの景観的魅力を高める

茅葺き民家群の家並み景観は、周辺の里山・田園の景観と一体的に形成されているため、里山や農地については、計画的に保全を図るとともに、整備(里山の手入れや植樹、農地の整備)、耕作放棄地の有効活用、里山や農地を活用したグリーンツーリズムなどの促進を図ります。



・周辺の里山と一体となった家並み景観

10) 精進地区集落ゾーン

■現状と課題

- 中道往還の伝馬宿として古くから存続する山間の伝統的集落地で、精進湖北岸から後背の山に向かって中道往還沿いに形成されています。古刹である諏訪神社や天然記念物の大杉、街道筋の宿場特有の間取りや建築様式をもつ古い民家や家並みなど、独特の趣がある集落景観を形成しています。
- 住民の多くが精進湖民宿村に移住したため、空き家や廃墟なども多く見られますが、湖の北岸から見る富士山や樹海、精進湖や溶岩などの眺望に加え、街道筋を感じさせる景観的な魅力を備えており、観光的な価値を見だし、地域の再生と活性化が望めます。

■景観形成の目標

中道往還の歴史性を活かした集落景観の形成と地域の活性化

■景観形成方針

①古道(中道往還)の歴史を活かし、集落景観の魅力を高める

古道(中道往還)を中心に、諏訪神社や天然記念物の大杉、古い民家、街道筋をしのぼせる家並み、道祖神など、歴史的景観資源の顕在化を図ります。また、これらを結ぶ散策ルート(まちかどや辻、サイン等)の整備、歴史性や集落景観に配慮した道路や河川の整備など、集落地の景観的な魅力づくりを推進します。

また、街道筋の趣のある集落地の景観を損なうことのないよう、建築物や工作物の適切な誘導を図り、歴史的な家並み景観の維持・向上を図ります。



・中道往還に沿って妻入民家が並ぶ精進集落

②景観の魅力を生かして地域の活力を高める

現在、空き家を利用した体験ハウスの試みが行われていますが、集落地の魅力づくりと併せて、地域交流イベントの開催、空き家を活用した移住や田舎暮らしの促進など、地域活力の向上を図ります。

11) 本栖地区集落周辺ゾーン

■現状と課題

- 古くから中道往還の宿場町として栄え、かつては「本栖千軒」と呼ばれるまち並みが形成されていたところで、往時を伝える社寺や関所や本陣跡、船着き場などの歴史的景観資源も多く分布しています。また、湖畔は大規模駐車場、宿泊施設や土産物店等が立地する本栖湖観光ゾーンの玄関口となっています。
- 本栖湖の玄関口にあり、本栖湖の優れた眺望と豊かな自然、古道と本栖千軒の歴史性などの魅力を備えており、観光的な価値を見だし、地域の再生と活性化が望めます。

■景観形成の目標

「本栖千軒」をしのぼせる集落景観の形成と本栖湖の玄関口としての魅力の向上

■景観形成方針

①歴史資源を活かした集落景観の魅力を高める

古道(中道往還)をはじめ、山神社、江岸寺、七社大明神などの社寺、関所や本陣跡、石塁、本栖公家行列などの歴史的景観資源の顕在化を図るとともに、これらを結ぶ散策ルートの整備(まちかどや辻、サイン等の整備)など、歴史的景観資源を活かしたまちづくりの促進を図ります。

また、趣のある集落地の風景を損なうことのないよう、建築物や工作物の適切な誘導を図り、歴史的な集落景観の形成と魅力の向上を図ります。



・江岸寺

②本栖湖の玄関口としての景観的魅力を高める

集落地の魅力づくりと併せて、眺望場所の整備、国道139号と国道300号の交差点(本栖交差点)周辺の修景や特色ある緑化、花植えなど、本栖湖の玄関口にふさわしいおもてなしを感じさせる景観づくりを推進します。

12) 富士ヶ嶺地区高原中央ゾーン

■現状と課題

- 富士ヶ嶺高原の中央部、県道富士宮鳴沢線と町道富士ヶ嶺1号線の交差点周辺の農業集落ゾーンで、富士豊茂小学校や町役場出張所、公民館や保育所等の公共公益施設が立地し、富士ヶ嶺地区の生活の中心となっています。
- 豊富な農畜産物など、観光的な魅力も十分に備えており、富士山と高原の酪農景観などの優れた景観の保全を図るとともに、景観資源を活かした地域の再生と活性化が望まれます。

■景観形成の目標

地区の中心にふさわしい良好な集落景観の形成と地域の活性化

■景観形成方針

①地区中心の魅力づくりと良好な集落景観の形成を図る

現在、地域住民により取り組みが行われている草花の緑化活動を一層促進するとともに、主要道路（県道富士宮鳴沢線、町道富士ヶ嶺1号線など）の修景、まちかど広場やイベント広場の整備、良好な眺望場所の整備、公共施設の修景、景観に配慮した建築物や工作物の適切な誘導、イチリンソウなどの希少種の保全、看板類やごみの不法投棄などの景観阻害要因の改善など、富士ヶ嶺地区の生活の中心地にふさわしい魅力づくりと良好な集落景観の形成を図ります。



・町道富士ヶ嶺1号線沿道の花植え

②景観資源を活かして地域の活力を高める

地区の魅力づくりと併せて、富士山の眺望や高原に広がる酪農景観など、地域の景観資源を活かし、現在実施されている「富士ヶ嶺ファームフェスタ」などの各種活性化イベントの開催等を通じ、地域の活力向上を図ります。



・富士ヶ嶺ファームフェスタ



・牧草地と富士山



・歌川広重の富士三十六景「甲斐御坂越」